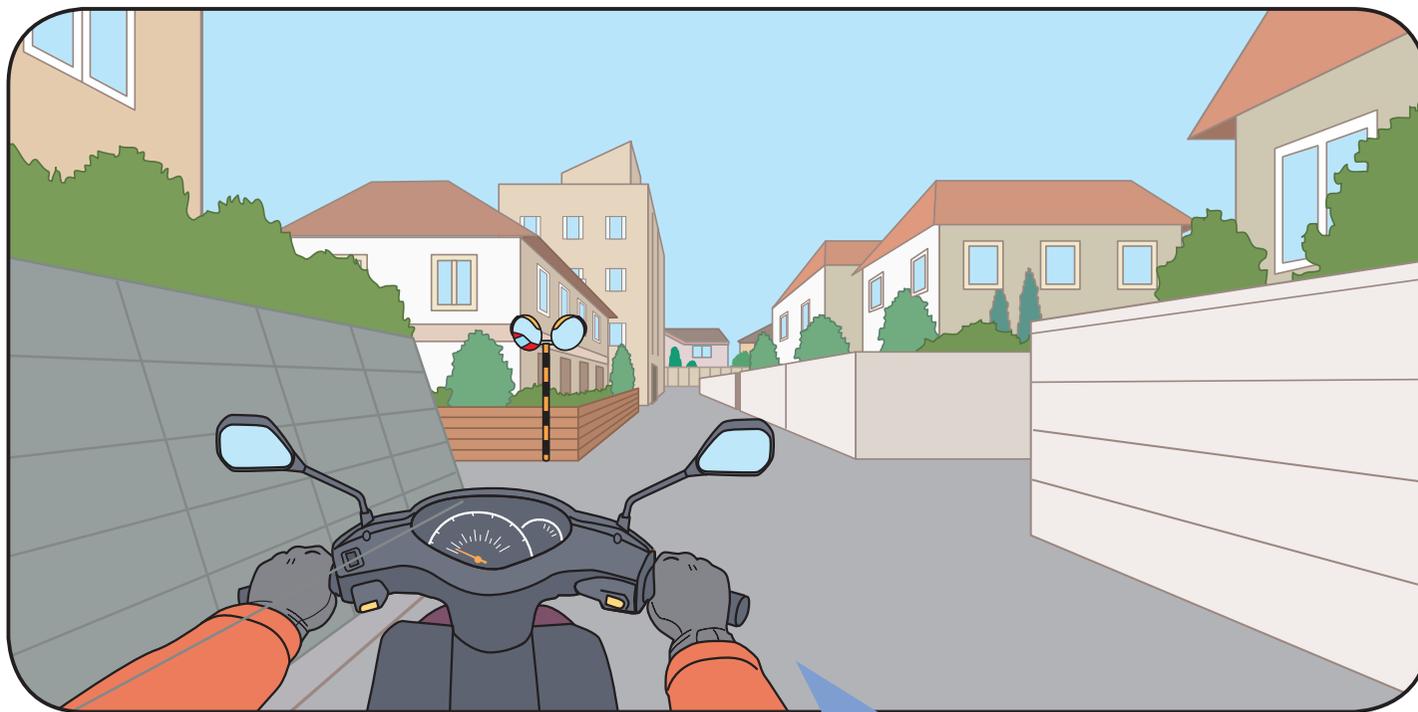


見通しの悪い交差点（二輪車編）



あなたは住宅地を走っていて、
見通しの悪い交差点に進入しようとしています。
交差する道路の道幅は同じようです。

このような時、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。

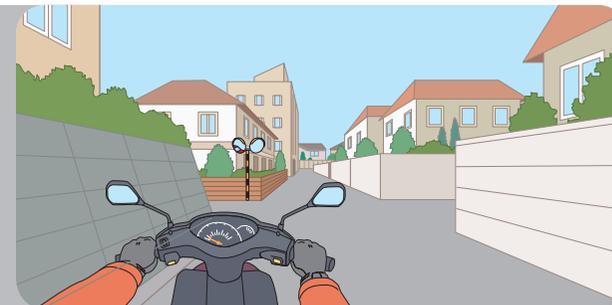
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

見通しの悪い交差点（二輪車編）

あなたは住宅地を走っていて、見通しの悪い交差点に進入しようとしています。
交差する道路の道幅は同じようです。

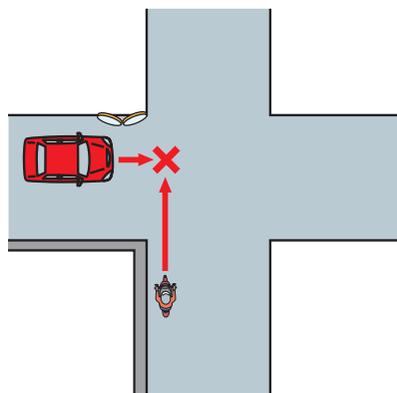
このような時、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。



答え

このような状況ではこんな危険があります

- 前方にあるカーブミラーをよく観ると、左側からクルマが交差点に近づいていることがわかります。このクルマのドライバーは、あなたの存在に気づいていないかもしれません。このまま交差点に入ると、出会い頭事故を起こす危険があります。また、カーブミラーにも見えないところから、自転車や歩行者が飛び出してきて衝突する可能性もあります。



ここがポイント

見通しの悪い交差点では徐行または一時停止を

- 見通しの悪い交差点の手前では、減速しながら徐行または一時停止し、安全確認をしてから交差点に入ることが出会い頭事故を防ぐことにつながります。
- 走り慣れている場所であっても、危険は必ず存在します。「いつも大丈夫だから、クルマは来ないはず」と思い込まず、左右の安全確認と慎重な行動をするようにしましょう。
- 住宅地などクルマの通行が少ない場所では、安全確認を怠るライダーやドライバーもいます。カーブミラーが設置してある交差点では、ライダーとドライバーはカーブミラーで確実に安全確認をする習慣をつけましょう。
- カーブミラーには見えない範囲もあるため、ミラーだけに頼らず、きちんと左右の安全確認をすることが必要です。
- このケースのように、信号機がなく、道幅が同じ交差点では、左方から進行してくる車両の進行妨害をしてはいけないことが道路交通法に定められています。安全に通行するためには、自分が交差する道路を通行する車両に道を譲るくらいのゆとりを持ちましょう。

【使用上の注意】

● 営利目的での利用はおやめください ● 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ● その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736